

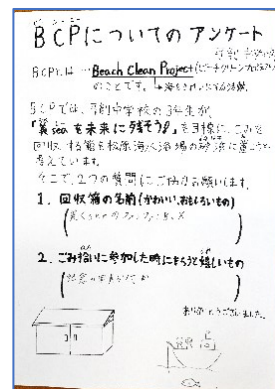
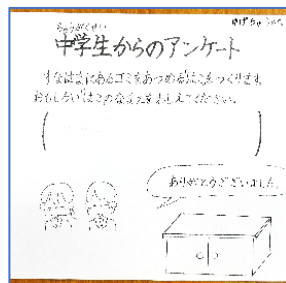
Beach Clean Project 活動報告

弓削中学校 3年生

私たち弓削中3年生が行ってきた Beach Clean Project の、1学期末から夏休みにかけての活動を報告します。

【ニックネームを募集】

弓削小学校児童、弓削中学校生徒に、回収箱のニックネームを募集しました。ニックネームを考えることで、BCPの活動に興味や関心を持ってほしい、親しみを覚えてほしいと考えたからです。小学2年生が考えた「あつめるくん」を採用し、回収箱に表示しました。



【パンフレット配布】

地域の方に BCP の活動を知ってもらうことが、たくさんの参加につながると考えました。そこで、BCPの目的や回収箱の設置場所、ルールなどを記載したパンフレットを作成し、弓削地区の広報に挟んで配布していただきました。



【回収箱「あつめるくん」設置】

1学期最終日の7月20日、海洋ゴミ回収箱「あつめるくん」を松原海水浴場に設置しました。



【当番活動】

夏休みの約40日の間、右のように当番を割り振り、管理・観察をしました。主に、可燃ごみの回収日前日に、どのようなゴミが、どれくらい入っているか、分別がきちんとできているかを調べました。

事前に浜都のゴミ収集所を利用させていただけるようお願いし、回収したゴミは、当番がそこに持っていきました。収集所に持っていく際には、役場からいただいたボランティア用のゴミ袋を使わせてもらいました。

1	7月25日	(月)	はな	亮瑛	純聡	午前:運動会
2	7月28日	(木)	彩希	亜沙美	啓太	午前:課外授業
3	8月1日	(月)	莉子	菜緒	朱里	終日:運動会
4	8月4日	(木)	志門	風花	康太	終日:運動会
5	8月8日	(月)	彩音	寿那	維花	
6	8月11日	(木)	彩音	寿那	維花	山の日 開庁日
7	8月15日	(月)	聖悟	彪雅	樹	開庁日
8	8月18日	(木)	莉子	菜緒	朱里	
9	8月22日	(月)	はな	亮瑛	純聡	
10	8月25日	(木)	彩希	亜沙美	啓太	午前:課外授業 午後:運動会
11	8月30日	(火)	聖悟	彪雅	樹	国島高校 オープンスクール
			志門	風花	康太	回収箱撤去



【回収箱「あつめるくん」撤去】

回収箱の撤去は8月30日に行いました。回収箱は弓削中学校に持ち帰りました。来年度以降も、この回収箱を使って、BCPの活動を続けてほしいと考えています。そこで、文化祭でこの夏の活動内容を報告し、後輩たちに引き継ぐ予定です。



【回収したゴミの様子】

回収したゴミの中で最も多かったのは、「燃えるゴミ」、次は「缶」でした。金属やピンは多くなかったものの、欠片などの小さいものが回収されていました。そして、回収されたもののほとんどが、正しく分別されていました。しかし、中には、食べ残した弁当がそのまま置かれていたり、缶の中に飲み物が残っていたりと、その場で出たゴミを回収箱に入れている様子もうかがえました。



約1か月で集まったゴミの量、ゴミの種類は、下のとおりです。回収されたゴミの量は、思ったほど多くありませんでした。

海洋ゴミ回収結果

回収したゴミの量(1か月)	
可燃ゴミ	4袋
カン	1袋
ビン	1/4袋

海洋ゴミ回収の内訳

月 日	燃える(プラスチック等)	カン	ビン	金属
7月29日	ペットボトル6 食品容器1 プラスチック1	0	1本 ガラス片多数	タグ1
8月 2日	ペットボトル6 食品容器類4	5本	0	0
8月 3日	ごみ回収			
8月 4日	洗剤容器 お菓子の袋多数 食品ト レイ多数 ペットボトル3 飲物の紙 パック	5本	3本 ガラス片多数	0
8月 4日	ごみ回収			
8月29日	ペットボトル1 ゴムひも 飲物の紙パック3	キャップ 2	お酒のビン2	タグ1 ソケット1

【考察】

回収されたゴミは、ほぼ正しく分別されていたことから、BCPの活動を知り、参加してくれた人たちには、自分たちの趣旨や思いが伝わったことが分かりました。しかし、予想より集まったゴミの量が少なく、もっと宣伝すべきであったと考えました。また、設置場所が、人々が海水浴を楽しむ場所から離れていることも原因の一つであると考えました。

BCPに関心を持って、参加してくれた人がいた半面、少数ですが、その場で出たゴミを捨てる人もいました。そのような人たちにも、環境問題に関心を持ってもらえるよう、この活動を続けていってほしいと考えています。

【成果】

私たち弓削中3年生は、Beach Clean Projectを通して、上島町の海辺の環境の改善向上を図ることを目的として活動した結果、次のような成果を得ることができました。

- 地域の方々や役場の方々との協力し、目標に向かって努力することができた。
- ふるさとの自然、世界の自然について理解を深め、問題解決に向けて考えることができた。
- 自分なりに方法を工夫したり、周りと交流したりすることにより、より良い解決方法を探す態度が身に付いた。
- チームを作り、役割を分担しながら互いに協力して活動することで、効率的に問題解決に取り組むことができた。
- 1年時からの経験や反省を、課題解決の過程に生かすことができた。

【課題】

実際に回収箱を設置し、活動した結果、次のような改善すべき課題も見つかりました。

- 参加者を増やすための方法
設置場所の見直し、宣伝方法の見直し、環境問題に対する啓発、
中学生への参加の呼びかけ
- ルールを守ってもらうための方法

後輩たちにはこれらの課題を解決し、この活動をより良いものにし、継続して行って欲しいと考えています。